

若手教員を指導する指導者の意識調査

愛知県義務教育問題研究協議会

【調査①】対象：指導者用（校長・教頭・主幹教諭・教務主任・校務主任）

1 調査対象

- 県内の公立小・中学校（名古屋市を除く）1,021校からランダムに350校を抽出。
指導者（校長、教頭、主幹教諭、教務主任、校務主任）768人から回答。

2 調査時期と回収

- 調査時期 平成25年8月15日～9月7日

A あなたのことについて、お伺いします。該当する番号を選んでお答えください。

(1) あなたの職種についてお答えください。

- | | |
|--------|--------------|
| ① 校長 | 114人 (14.8%) |
| ② 教頭 | 252人 (32.8%) |
| ③ 主幹教諭 | 9人 (1.2%) |
| ④ 教務主任 | 324人 (42.2%) |
| ⑤ 校務主任 | 68人 (8.9%) |
| 誤答・無回答 | 1人 (0.1%) |

(2) あなたの勤務校種と学校規模についてお答えください。

※ 11学級以下…小規模校、12～18学級…中規模校、19学級以上…大規模校
(特別支援学級を含む)

- | | |
|------------|--------------|
| ① 小学校・小規模校 | 126人 (16.4%) |
| ② 小学校・中規模校 | 208人 (27.1%) |
| ③ 小学校・大規模校 | 204人 (26.6%) |
| ④ 中学校・小規模校 | 37人 (4.8%) |
| ⑤ 中学校・中規模校 | 93人 (12.1%) |
| ⑥ 中学校・大規模校 | 99人 (12.9%) |
| 誤答・無回答 | 1人 (0.1%) |

B 貴校の若手教員（2～6年目）の様子について、最も近いものを一つ選んでください。

(3) 貴校の若手教員は、子どもたちへの愛情をもった声かけが積極的にできていますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① できている | 334人 (43.5%) |
| ② おおむねできている | 412人 (53.6%) |
| ③ 余りできていない | 16人 (2.1%) |
| ④ 全くできていない | 2人 (0.3%) |
| 誤答・無回答 | 4人 (0.5%) |

(4) 貴校の若手教員は、子どもたち一人一人のことを理解し、よさを伸ばすことができますか。

① できている	153人 (19.9%)
② おおむねできている	565人 (73.6%)
③ 余りできていない	48人 (6.3%)
④ 全くできていない	1人 (0.1%)
誤答・無回答	1人 (0.1%)

(5) 貴校の若手教員は、学習指導や生活・生徒指導について、自分の指導力を向上させようと努力することができますか。

① できている	277人 (36.1%)
② おおむねできている	447人 (58.2%)
③ 余りできていない	41人 (5.3%)
④ 全くできていない	1人 (0.1%)
誤答・無回答	2人 (0.3%)

(6) 貴校の若手教員は、教育者としての使命を自覚し、責任をもって職務に取り組むことができますか。

① できている	315人 (41.0%)
② おおむねできている	440人 (57.3%)
③ 余りできていない	12人 (1.6%)
④ 全くできていない	1人 (0.1%)

(7) 貴校の若手教員は、職場の上司や仲間と協力しながら、教育活動に取り組むことができますか。

① できている	419人 (54.6%)
② おおむねできている	338人 (44.0%)
③ 余りできていない	11人 (1.4%)
④ 全くできていない	0人 (0.0%)

(8) 貴校の若手教員は、生活・生徒指導をする上で、家庭との連携を図ることができますか。

① できている	161人 (21.0%)
② おおむねできている	540人 (70.3%)
③ 余りできていない	66人 (8.6%)
④ 全くできていない	1人 (0.1%)

(9) 貴校の若手教員は、提出物の期限を守り、適正な事務仕事ができますか。

① できている	169人 (22.0%)
② おおむねできている	501人 (65.2%)
③ 余りできていない	98人 (12.8%)
④ 全くできていない	0人 (0.0%)

- (10) 貴校の若手教員は、時と場面、相手に応じた、適切な言葉遣いができていますか。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① できている | 216人 (28.1%) |
| ② おおむねできている | 508人 (66.1%) |
| ③ 余りできていない | 44人 (5.7%) |
| ④ 全くできていない | 0人 (0.0%) |
- (11) 貴校の若手教員は、職場の先生の指導を、若手教員自身の指導に取り入れることができますか。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① できている | 198人 (25.8%) |
| ② おおむねできている | 527人 (68.6%) |
| ③ 余りできていない | 43人 (5.6%) |
| ④ 全くできていない | 0人 (0.0%) |
- (12) 貴校の若手教員は、研究協議や職員会議において、若手教員自身の考えを出すことができますか。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① できている | 125人 (16.3%) |
| ② おおむねできている | 424人 (55.2%) |
| ③ 余りできていない | 217人 (28.3%) |
| ④ 全くできていない | 2人 (0.3%) |
- (13) 貴校の若手教員は、若手教員自身の課題を解決するために、指導者の指導や助言を受け入れることができますか。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① できている | 290人 (37.8%) |
| ② おおむねできている | 453人 (59.0%) |
| ③ 余りできていない | 22人 (2.9%) |
| ④ 全くできていない | 1人 (0.1%) |
| 誤答・無回答 | 2人 (0.3%) |

- 若手教員のそれぞれの経験年数において、最も重視する研修項目を、下の①～⑩の中から三つ選んで、学ばせたい順に順位をつけてください。同じ番号のものを繰り返し使っても構いません。

○ 1年目

	(14) 1番目	(15) 2番目	(16) 3番目
① 教育理念	239人(31.1%)	12人(1.6%)	27人(3.5%)
② 教材研究のすすめ方	108人(14.1%)	177人(23.0%)	113人(14.7%)
③ 発問、板書、評価など授業スキル	182人(23.7%)	255人(33.2%)	137人(17.8%)
④ 教室環境の工夫	4人(0.5%)	38人(4.9%)	68人(8.9%)
⑤ 学級での児童・生徒の人間関係づくり	218人(28.4%)	186人(24.2%)	142人(18.5%)
⑥ 特別な支援を必要とする児童・生徒への指導の在り方	4人(0.5%)	24人(3.1%)	50人(6.5%)
⑦ 学校行事での全体指導の在り方	1人(0.1%)	2人(0.3%)	9人(1.2%)
⑧ 保護者への対応の仕方	5人(0.7%)	56人(7.3%)	186人(24.2%)
⑨ 教育論文の書き方	0人(0.0%)	2人(0.3%)	2人(0.3%)
⑩ 部活動の指導の在り方	0人(0.0%)	8人(1.0%)	24人(3.1%)
誤答・無回答	7人(0.9%)	8人(1.0%)	10人(1.3%)

○ 2～4年目

	(17) 1番目	(18) 2番目	(19) 3番目
① 教育理念	92人(12.0%)	10人(1.3%)	9人(1.2%)
② 教材研究のすすめ方	172人(22.4%)	105人(13.7%)	71人(9.2%)
③ 発問、板書、評価など授業スキル	214人(27.9%)	161人(21.0%)	70人(9.2%)
④ 教室環境の工夫	8人(1.0%)	51人(6.6%)	49人(6.4%)
⑤ 学級での児童・生徒の人間関係づくり	213人(27.7%)	185人(24.1%)	82人(10.7%)
⑥ 特別な支援を必要とする児童・生徒への指導の在り方	34人(4.4%)	98人(12.8%)	116人(15.1%)
⑦ 学校行事での全体指導の在り方	8人(1.0%)	45人(5.9%)	60人(7.8%)
⑧ 保護者への対応の仕方	22人(2.9%)	85人(11.1%)	219人(28.5%)
⑨ 教育論文の書き方	1人(0.1%)	9人(1.2%)	38人(4.9%)
⑩ 部活動の指導の在り方	0人(0.0%)	16人(2.1%)	50人(6.5%)
誤答・無回答	4人(0.5%)	3人(0.4%)	4人(0.5%)

○5、6年目

	(20) 1 番目	(21) 2 番目	(22) 3 番目
① 教育理念	1 0 9 人(14.2%)	1 8 人(2.3%)	2 6 人 (3.4%)
② 教材研究のすすめ方	1 0 3 人(13.4%)	6 4 人(8.3%)	4 8 人 (6.3%)
③ 発問、板書、評価など授業スキル	1 3 9 人(18.1%)	7 0 人(9.1%)	3 6 人 (4.7%)
④ 教室環境の工夫	1 0 人(1.3%)	1 3 人(1.7%)	2 9 人 (3.8%)
⑤ 学級での児童・生徒の人間関係づくり	1 5 2 人(19.8%)	1 2 4 人(16.1%)	3 4 人 (4.4%)
⑥ 特別な支援を必要とする児童・生徒への指導の在り方	5 5 人(7.2%)	1 4 4 人(18.8%)	1 1 0 人 (14.3%)
⑦ 学校行事での全体指導の在り方	1 5 3 人(19.9%)	1 6 0 人(20.8%)	1 2 2 人 (15.9%)
⑧ 保護者への対応の仕方	2 4 人(3.1%)	9 6 人(12.5%)	1 4 9 人 (19.4%)
⑨ 教育論文の書き方	1 3 人(1.7%)	4 9 人(6.4%)	1 4 4 人 (18.8%)
⑩ 部活動の指導の在り方	1 人(0.1%)	2 0 人(2.6%)	6 0 人 (7.8%)
誤答・無回答	9 人(1.2%)	1 0 人(1.3%)	1 0 人 (1.3%)

○経験年数は問わず毎年

	(23) 1 番目	(24) 2 番目	(25) 3 番目
① 教育理念	1 9 9 人(25.9%)	1 5 人(2.0%)	3 9 人 (5.1%)
② 教材研究のすすめ方	9 4 人(12.2%)	9 5 人(12.4%)	7 0 人 (9.1%)
③ 発問、板書、評価など授業スキル	1 9 0 人(24.7%)	1 3 0 人(16.9%)	7 3 人 (9.5%)
④ 教室環境の工夫	9 人(1.2%)	1 6 人 (2.1%)	2 4 人 (3.1%)
⑤ 学級での児童・生徒の人間関係づくり	1 6 9 人(22.0%)	2 3 4 人(30.5%)	8 8 人 (11.5%)
⑥ 特別な支援を必要とする児童・生徒への指導の在り方	5 1 人(6.6%)	1 4 7 人(19.1%)	1 3 9 人 (18.1%)
⑦ 学校行事での全体指導の在り方	1 4 人(1.8%)	3 3 人 (4.3%)	5 4 人 (7.0%)
⑧ 保護者への対応の仕方	3 0 人(3.9%)	8 4 人(10.9%)	2 2 5 人 (29.3%)
⑨ 教育論文の書き方	4 人(0.5%)	5 人(0.7%)	2 4 人 (3.1%)
⑩ 部活動の指導の在り方	2 人(0.3%)	3 人(0.4%)	2 7 人 (3.5%)
誤答・無回答	6 人(0.8%)	6 人(0.8%)	5 人 (0.7%)

D 若手教員の育成について、最も当てはまるものを一つ選んでください。

(26) 貴校には、若手教員のための育成プランがありますか。

- | | |
|----------------------|--------------|
| ① 5～6年間を見通した育成プランがある | 36人 (4.7%) |
| ② 2～3年間を見通した育成プランがある | 76人 (9.9%) |
| ③ 単年の育成プランがある | 185人 (24.1%) |
| ④ 研修ごとの育成プランがある | 136人 (17.7%) |
| ⑤ 明確な育成プランはない | 326人 (42.4%) |
| 誤答・無回答 | 9人 (1.2%) |

(27) 職場の若手教員に自ら声かけをしていますか。

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 毎日必ずしている | 172人 (22.4%) |
| ② ほぼ毎日している | 380人 (49.5%) |
| ③ 週に2～3日している | 179人 (23.3%) |
| ④ 週に1日ぐらいしている | 29人 (3.8%) |
| ⑤ ほとんどしていない | 1人 (0.1%) |
| 誤答・無回答 | 7人 (0.9%) |

(28) 若手教員からの相談に対してどのように対応していますか。

- | | |
|------------------------------|--------------|
| ① 定期的に声をかけ意図的に面談の機会をもっている | 41人 (5.3%) |
| ② 本人の様子を見ながら必要と思われるときに随時している | 601人 (78.3%) |
| ③ 本人が希望すればいつでも応じると伝えてある | 62人 (8.1%) |
| ④ 特に何もしていないが、申出があれば応じている | 59人 (7.7%) |
| 誤答・無回答 | 5人 (0.7%) |

(29) 校長・教頭は若手教員への指導役を担っていますか。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| ① 校長・教頭ともに担っている | 724人 (94.3%) |
| ② 校長は担っているが、教頭は余り担っていない | 17人 (2.2%) |
| ③ 教頭は担っているが、校長は余り担っていない | 14人 (1.8%) |
| ④ 校長・教頭ともに余り担っていない | 11人 (1.4%) |
| 誤答・無回答 | 2人 (0.3%) |

(30) 主幹教諭は若手教員への指導役を担っていますか。(60校) ※主幹教諭配置校のみ。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 担っている | 43人 (5.6%) |
| ② ある程度担っている | 17人 (2.2%) |
| ③ 余り担っていない | 0人 (0.0%) |
| ④ 全く担っていない | 0人 (0.0%) |

(31) 教務主任・校務主任は若手教員への指導役を担っていますか。

<校務主任配置校は、①～④の中から選んでください。>

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| ① 教務主任・校務主任ともに担っている | 645人 (84.0%) |
| ② 教務主任は担っているが、校務主任は余り担っていない | 86人 (11.2%) |
| ③ 校務主任は担っているが、教務主任は余り担っていない | 9人 (1.2%) |
| ④ 教務主任・校務主任ともに余り担っていない | 3人 (0.4%) |

<校務主任未配置校は、教務主任について、⑤～⑧の中から選んでください。>

⑤ 担っている	10人 (1.3%)
⑥ ある程度担っている	1人 (0.1%)
⑦ 余り担っていない	7人 (0.9%)
⑧ 全く担っていない	0人 (0.0%)
誤答・無回答	7人 (0.9%)

(32) 学年主任は若手教員への指導役を担っていますか。

① 担っている	522人 (68.0%)
② ある程度担っている	185人 (24.1%)
③ 余り担っていない	13人 (1.7%)
④ 全く担っていない	2人 (0.3%)
誤答・無回答	46人 (6.0%)

(33) 主任以外の同僚教員は若手教員への指導役を担っていますか。

① 担っている	282人 (36.7%)
② ある程度担っている	419人 (54.6%)
③ 余り担っていない	64人 (8.3%)
④ 全く担っていない	0人 (0.0%)
誤答・無回答	3人 (0.4%)

(34) 若手教員の自己研さんの機会をどのように支援していますか。

① 本人が申し出た研修は極力認めている	358人 (46.6%)
② 本人が申し出た研修を精査し、認めている	98人 (12.8%)
③ 指導者自身がよいと思ったものを若手教員に勧めている	291人 (37.9%)
④ 特に支援はしていない	12人 (1.6%)
誤答・無回答	9人 (1.2%)

E 若手教員を育てていくに当たって、お困りの点は何ですか。最も当てはまるものを一つお選びください。

(35) 若手の指導役となる中堅教員不足に困っている。

① とても当てはまる	313人 (40.8%)
② おおむね当てはまる	270人 (35.2%)
③ 余り当てはまらない	162人 (21.1%)
④ 全く当てはまらない	15人 (2.0%)
誤答・無回答	8人 (1.1%)

(36) 多忙により研修機会が設定できないことに困っている。

① とても当てはまる	294人 (38.3%)
② おおむね当てはまる	374人 (48.7%)
③ 余り当てはまらない	91人 (11.8%)
④ 当てはまらない	4人 (0.5%)
誤答・無回答	5人 (0.7%)

(37) 県教育委員会や教育事務所、総合教育センターのサポートが十分でないことに困っている。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 5人 (0.7%) |
| ② おおむね当てはまる | 67人 (8.7%) |
| ③ 余り当てはまらない | 580人 (75.5%) |
| ④ 当てはまらない | 110人 (14.3%) |
| 誤答・無回答 | 9人 (1.2%) |

(38) 管轄教育委員会のサポートが十分でないことに困っている。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 5人 (0.7%) |
| ② おおむね当てはまる | 39人 (5.1%) |
| ③ 余り当てはまらない | 574人 (74.7%) |
| ④ 全く当てはまらない | 143人 (18.6%) |
| 誤答・無回答 | 7人 (0.9%) |

F 若手教員の育成を図る上で、どのようなことを大切にすべきと考えていますか。最も当てはまるものを一つお選びください。

(39) 指導者側が必要と考える研修を大切にすべきである。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 220人 (28.6%) |
| ② おおむね当てはまる | 501人 (65.2%) |
| ③ 余り当てはまらない | 42人 (5.5%) |
| ④ 全く当てはまらない | 3人 (0.4%) |
| 誤答・無回答 | 2人 (0.3%) |

(40) 若手教員が必要と考える研修を大切にすべきである。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 229人 (29.8%) |
| ② おおむね当てはまる | 487人 (63.4%) |
| ③ 余り当てはまらない | 48人 (6.3%) |
| ④ 全く当てはまらない | 2人 (0.3%) |
| 誤答・無回答 | 2人 (0.3%) |

(41) 若手教員をサポートするチーム作りを大切にすべきである。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 303人 (39.5%) |
| ② おおむね当てはまる | 356人 (46.4%) |
| ③ 余り当てはまらない | 99人 (12.9%) |
| ④ 全く当てはまらない | 2人 (0.3%) |
| 誤答・無回答 | 8人 (1.0%) |

(42) 若手教員を育成する担当者に任せることを大切にすべきである。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 19人 (2.5%) |
| ② おおむね当てはまる | 277人 (36.1%) |
| ③ 余り当てはまらない | 406人 (52.9%) |
| ④ 全く当てはまらない | 56人 (7.3%) |
| 誤答・無回答 | 10人 (1.3%) |

- (43) 若手教員への日常の指導を重視し、校内研修を大切にすべきである。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 407人 (53.0%) |
| ② おおむね当てはまる | 341人 (44.4%) |
| ③ 余り当てはまらない | 14人 (1.8%) |
| ④ 全く当てはまらない | 0人 (0.0%) |
| 誤答・無回答 | 6人 (0.8%) |
- (44) 若手教員の視野やネットワークを広げるために、校外研修を大切にすべきである。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 112人 (14.6%) |
| ② おおむね当てはまる | 457人 (59.5%) |
| ③ 余り当てはまらない | 188人 (24.5%) |
| ④ 全く当てはまらない | 5人 (0.7%) |
| 誤答・無回答 | 6人 (0.8%) |
- (45) 若手教員には、ノウハウを重視した指導方法に関する研修を大切にすべきである。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 194人 (25.3%) |
| ② おおむね当てはまる | 476人 (62.0%) |
| ③ 余り当てはまらない | 92人 (12.0%) |
| ④ 全く当てはまらない | 0人 (0.0%) |
| 誤答・無回答 | 6人 (0.8%) |
- (46) 若手教員には、教育理念を踏まえた研修を大切にすべきである。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 209人 (27.2%) |
| ② おおむね当てはまる | 452人 (58.9%) |
| ③ 余り当てはまらない | 94人 (12.2%) |
| ④ 全く当てはまらない | 7人 (0.9%) |
| 誤答・無回答 | 6人 (0.8%) |
- (47) 若手教員の若さを生かした指導を大切にすべきである。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 272人 (35.4%) |
| ② おおむね当てはまる | 419人 (54.6%) |
| ③ 余り当てはまらない | 67人 (8.7%) |
| ④ 全く当てはまらない | 4人 (0.5%) |
| 誤答・無回答 | 6人 (0.8%) |
- (48) 若手教員の研修に関わる時間的、事務的負担の考慮を大切にすべきである。
- | | |
|-------------|--------------|
| ① とても当てはまる | 375人 (48.8%) |
| ② おおむね当てはまる | 319人 (41.5%) |
| ③ 余り当てはまらない | 51人 (6.6%) |
| ④ 全く当てはまらない | 2人 (0.3%) |
| 誤答・無回答 | 21人 (2.7%) |

(49) 若手教員の研修への参加意欲を高める工夫を大切にすべきである。

① とても当てはまる	377人 (49.1%)
② おおむね当てはまる	339人 (44.1%)
③ 余り当てはまらない	30人 (3.9%)
④ 全く当てはまらない	1人 (0.1%)
誤答・無回答	21人 (2.7%)

(50) 中期的（5年程度）な見通しのある研修プログラムを計画的に組むことを大切にすべきである。

① とても当てはまる	226人 (28.6%)
② おおむね当てはまる	427人 (55.6%)
③ 余り当てはまらない	89人 (11.6%)
④ 全く当てはまらない	3人 (0.4%)
誤答・無回答	23人 (3.0%)